

令和6年度 前期 府本小学校学校評価アンケートの考察と対策

アンケート期間：9月13日～9月20日

回収状況：児童 62名／63名（98%）
保護者 58名／63名（92%）
教職員 11名／11名（100%）



【総評】

後期におけた取組の方向

○家庭学習とメディアのバランス

※メディアとの付き合い方（メディアの使用時間や使用時間帯の指導）について、保護者と連携して取組を進めていく（啓発の継続）

○挨拶や言葉遣い

※学校だけでなく、保護者や地域の方にも自分から積極的に挨拶を行う
※周りの人が聞いて気持ちよくなる言葉遣いを心掛ける（呼び捨て禁止）

【個別分析】

◎きわめて良好4.0↑ ○良好3.5↑ □標準的3.0↑ △▲課題あり2.9↓
前回・1年前との比較：上昇0.3以上↑ 上昇↑ 変化なし＝ 下降↓ 下降0.3以上↓↓

（1）子どもたちは学校で楽しく学んでいるか。

	教職員	保護者	児童
今回	○ 3.7	○ 3.5	○ 3.8
R6 2月	↓3.8	↓3.6	↑3.5
R5 9月	↓3.8	↓3.6	=3.8

○全体的に評価が高い項目である。

○学校が楽しいと感じている児童が増えている。教職員も児童の日常の様子から、楽しく学んでいるように感じていると考えられる。この雰囲気を保つため、引き続き楽しい学校・学級づくりを心がけていく。

（2）学校は学力向上の取組を工夫しているか。

	教職員	保護者	児童
今回	□ 3.3	□ 3.3	○ 3.8
R6 2月	↓3.6	↑3.2	↑3.6
R5 9月	↓3.8	↑3.2	↓4.0

○授業では友達との学び合いを大切にしている。集団学びの後に自分の考えをまとめ直す「反映」の時間を設定し、学力向上につなげている。

○少人数の良さを生かし、一人一人の児童に応じた指導を今後も行っていく。

（3）学校は心の教育に力を入れているか。

	教職員	保護者	児童
今回	□ 3.1	□ 3.4	○ 3.8
R6 2月	↓3.6	↑3.3	↑3.5
R5 9月	↓3.8	↑3.3	↓4.0

○保護者・児童の回答は、前回の調査より向上している。教職員の評価は大きく減少している。

○児童の心や生活が落ち着き、相手のことを大切に思えるよう、目配りや言葉かけを大事にしていく。

（4）学校は体力や健康を考えた取組を行っているか。

	教職員	保護者	児童
今回	□ 3.1	□ 3.4	○ 3.9
R6 2月	↓3.3	=3.4	↑3.6
R5 9月	↓3.5	↑3.3	=3.9

○前期は、運動会や水泳大会など熱中症に気を付けながら実施できた。

○後期は、体育委員会主催のゲーム大会等を開催し、児童が楽しく体力づくりができるよう計画をしている。

(5) 学校はお知らせや連絡を適切に行っているか。				
	教職員	保護者	児童	
今回	○3.5	○3.5	○3.9	○学級通信・学校便りは定期的に発行できている。 ○学級からのお便りは簡素化した。必要な連絡は、学級通信や安心メールでもらさず伝えている。児童の様子は、毎日更新しているホームページを見ていただきたい。
R6 2月	↓3.8	↑3.3	↑3.5	
R5 9月	↓3.8	↑3.4	=3.9	
(6) 子どもたちは挨拶や言葉遣いが望ましいか。				
	教職員	保護者	児童	
今回	□3.2	□3.1	○3.5	○挨拶の実施状況は、個人差・学年差が大きい。 ○児童は「大きな声で」「自分から」挨拶をするようにしている。「立ち止まって」挨拶ができる上級生をお手本にして全児童の向上を図る。 ○周りの人が聞いて心地よい言葉遣いができるよう、心の教育と共に取り組んでいく。
R6 2月	=3.2	↑3.0	↑3.3	
R5 9月	↓3.4	=3.1	↓3.6	
(7) 子どもたちはきまり（安全面から掃除にいたるまで）を守っているか。				
	教職員	保護者	児童	
今回	○3.5	□3.4	○3.7	○今後も学校での過ごし方や登下校等について、その都度丁寧に指導をしていく。 ○よりよい姿となるように、毎月の生活目標やクラスでの取り組み等について毎日意識して取り組み、振り返りも大切にしていく。
R6 2月	↑3.3	=3.4	↑3.5	
R5 9月	=3.5	=3.4	↓3.8	
(8) 「早寝早起き朝ご飯」など生活リズムはよいか。				
	教職員	保護者	児童	
今回	□3.3	□3.2	○3.5	○「早寝早起き朝ご飯」は「府本ブランド」の1項目として重点的に指導している。日頃から機会をとらえて指導を続けている。 ○児童の心身の成長には生活習慣を整えることが大切であることを継続的に指導していく。
R6 2月	↑3.2	↓3.3	↑3.2	
R5 9月	=3.3	=3.2	↓3.6	
(9) 家庭学習とメディアとはバランスがとれているか。				
	教職員	保護者	児童	
今回	□3.0	△2.8	○3.5	○評価としては一番低い項目である。 ○メディアの使い方の約束とあわせて、帰宅したらまず家庭学習を行うなどの習慣化を図っていく。 ○メディアのしすぎによる心身への影響について、児童にも保護者にも伝え、啓発に努めていく。
R6 2月	↓3.2	=2.8	↑3.2	
R5 9月	↓3.1	=2.8	=3.5	
(10) 学校の施設や設備などの教育環境は充実していると思うか。				
	教職員	保護者	児童	
今回	□3.1	□3.2	○3.8	○学校施設については、雨漏り等経年劣化の影響を受けている箇所がある。現在ある施設や設備の整備を行い、効果的に活用できるようにするとともに、市教委と連携をとって教育環境の充実に取り組んでいく。
R6 2月	↓3.3	↓3.3	↑3.4	
R5 9月	↓3.3	=3.2	=3.8	
(11) 家庭には「〇時になったらメディアはしません」などという約束がある。				
		保護者	児童	
今回		□3.2	□3.4	○約束がある家庭が徐々に増えている。各家庭でもメディアとの付き合い方について意識が高まってきていると考えられる。 ○今後もメディアについての情報を学校から発信し、家庭と協力してメディアコントロールの意識を高めていきたい。
R6 2月		=3.2	↑3.3	
R5 9月		↓3.3	↓3.7	

学校をよりよくするための意見（保護者自由記述）

- 一人ひとりに寄り添っていただいているのでクラスの雰囲気がとても良くなっていると思います。中学校へ向けて先生との信頼関係作りはとても大事だと思うので今の雰囲気はとても良いと思います。
- 今年から学習だけでなく、家庭や地域への繋がりを大切にするプログラムになって、子供が宿題含めた学校へ通うことへのプレッシャーが減りリラックスして学校に通えるようになりました。引き続き、このペースが保てるよう子供が常に安心感を感じられる雰囲気の中、学習を楽しめられたら、素晴らしいなと思います。
- 学級の中での子どもどうしや子どもと先生の信頼関係は、学校生活でとても大切なものと考えています。本校は、信頼関係をもとにしたよい雰囲気があります。今後とも、一人一人が大切にされて、だれもが安心して過ごせる府本小学校でありつづけるよう、すべての学年・学級で指導と支援をしていきます。
- 少ない生徒数ですが、新しい遊具等遊びの幅が広がるような設備投資もあるといいなと思います。
- 市の予算等の関係もあり、新しい遊具はなかなか作ってもらえませんが、現在ある施設・設備の維持・管理と故障個所の修理等を行いながら、安全で楽しい学校生活がおくれるよう配慮していきます。学校の除草作業は、休日に地域の方がボランティアで行っていただいています。感謝の気持ちでいっぱいです。
- いつもありがとうございます。見守りボランティアの方には下校時も一緒に帰っていただけてとても感謝しています。学童と学校が連携を持ってほしいなと思っています。
- 年度当初、学童クラブの担当者と学校との連携が不十分で、ご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。現在は、教頭を窓口として学童クラブ担当者と学校の連絡を密にするよう気を付けています。また、次年度には、学童クラブとの情報交換会も開催するよう準備を進めています。下校時の学童クラブからのお迎え等、子供たちの安全を確保するための方策について、今後とも協議を進めていきます。
- 夏までは、学級のおたよりで子どもたちの様子が伝わってきていたのですが、7月頃から時間割と連絡事項のみになり、どんな風に過ごしているのか、どんなことがあっているのか、子どもの話からしか分からなくなりましたが、その子どもの話も偏っていたり不十分だったりしてよく分からないことが増えました。連絡事項に書かれていることの内容や経緯などが分からないので様子が知りたいです。
- 働き方改革の一環で、学級通信の簡素化を図りました。担任が行う学級事務の時間を削減し、児童と向き合う時間を確保するための手立てです。必要な連絡は、学級通信の下段に担任から連絡がされています。また、必要に応じて安心メールでの連絡も行います。お子様の様子はご家庭でしっかりお話しされることが大切です。また、子供たちの学習活動等の様子は、府本小学校ホームページで毎日発信しています。ぜひそちらもご覧ください。